

外国人集住都市会議 津会議2017

総社市の多文化共生施策



**総社市長
片岡 聡一**

総社市の在留外国人の状況

(1) 総社市の人口

総人口:68,516人 平成29年11月1日現在
(対前年度 +347人)

うち在留外国人 1,160人(対前年度 +207人)

(総人口に占める割合 1.69%(対前年度 +0.29%)

うちベトナム人 469人(対前年度 +185人)
(対前年度 +40.4%)

(在留外国人に占める割合 36.1%)

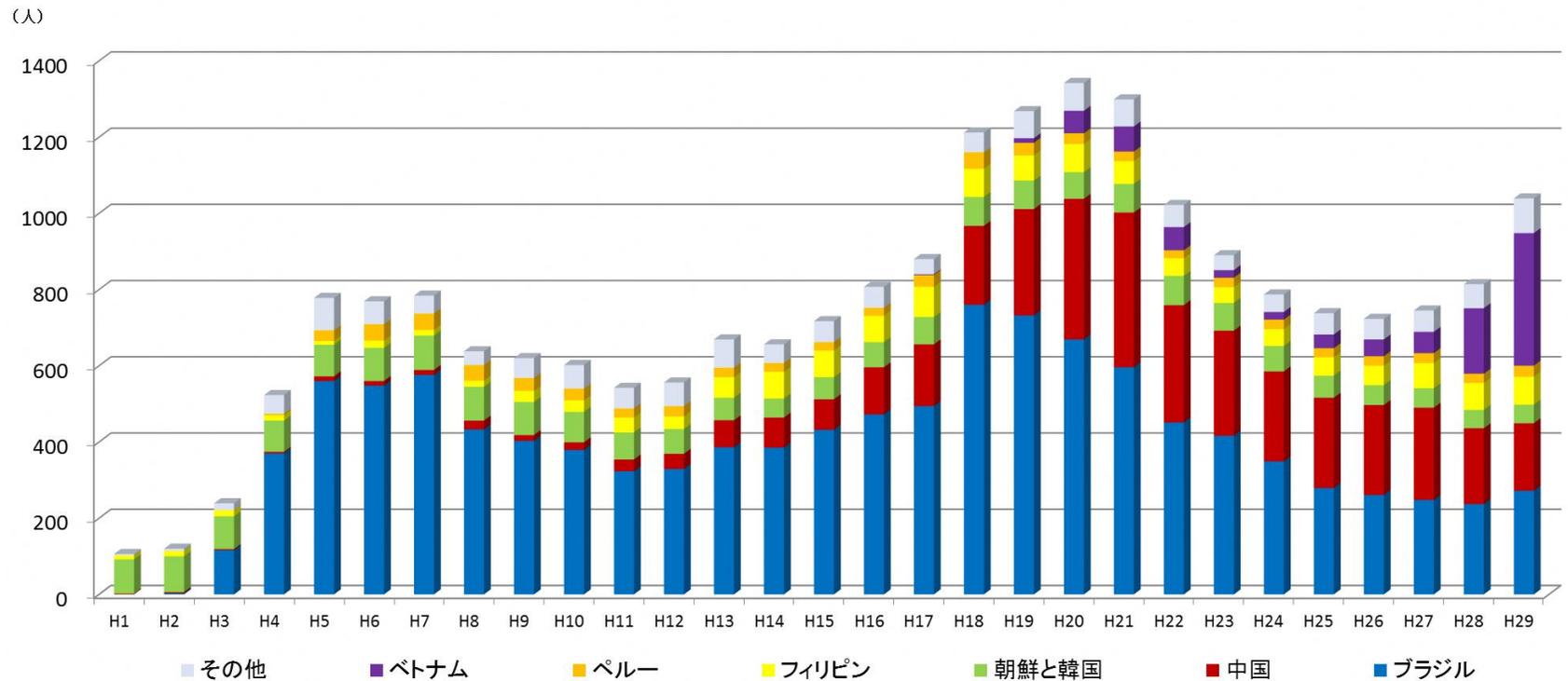
(2) 在留資格別内訳

ベトナム出身者は「技術実習生」

南米出身者は「定住者」「永住者」及びその配偶者

在留外国人の推移（ベトナム人の増加）

【在留外国人人口の推移(平成1～29年度)】



企業誘致の成功による雇用の拡大



多文化共生施策① 地域コミュニティ等との連携

- 総社市地域コミュニティ連絡協議会との
合同主催の多文化共生イベントの開催
- 地域社会での自立した外国人住民たち
によるコミュニティづくり（H22.7設立）



多文化共生施策③ ハローワークとの協定（就労支援ルーム）

ハローワーク内にポルトガル語通訳を配置(H23. 7)



ハローワークとの協定 関連施策 障がい者千五百人雇用

すべての人が
共に生きていく社会へ



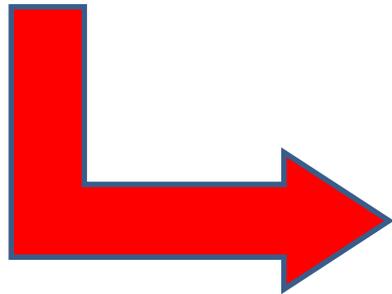
障がい者の
生き方が変わる

現状・課題について

様々な業種・職種で人手不足

地方では. . .

- ・若年層の大都市への流出
- ・地場産業の後継者不足が深刻化



外国人が多種多様な資格を習得するためのサポートをお願いしたい。

→企業ニーズに対応
就職率のアップ

国への投げかけについて

- ▶ 都道府県が、サービスの資格（介護，看護，理容・美容資格など）の取得を支援できるように，国は外国人向けの職業訓練拡充のための財政支援や，定住外国人の職業選択の幅を広げるための支援を進めるべきである。



総社市
多文化共生

<http://www.facebook.com/city.soja.tabunka>